



国立病院機構のシンボルマーク



独立行政法人国立病院機構  
 **松江医療センター**  
**呼吸器病センター**  
 〒690-8556  
 松江市上乃木5丁目8-31  
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019  
 URL <https://matsue.hosp.go.jp/>

発行責任者  
 院長 井岸 正  
 編集者  
 事務部長 前田 悟



**ニューフェイスと満開の桜**

今年度も桜が満開の時期に撮影することができました。今年は新規採用の看護師20名を迎えました。今年には院長も替わりました。看護師長も2人替わりしました。

みんなで松江医療センターを支える土台となれるよう成長していきます。



就任のご挨拶 ..... 2～3  
 副院長に就任して ..... 3  
 教育研修部コラム「願わくは…」 ..... 4  
 トピック：「診療看護師」 ..... 5  
 「神経難病在宅支援研修会  
 (兼 院内勉強会)」を終えて ..... 5  
 医師紹介 ..... 6  
 異動者紹介 ..... 6  
 令和元年度 神経・筋疾患  
 中国四国ブロック研究発表会に参加して .. 7～8

電動車いすサッカーチーム  
 『松江コンビグ』 ..... 8  
 消火避難訓練実施 ..... 9  
 3階病棟院内行事 春祭り会 ..... 10  
 人事異動 ..... 10  
 地域医療連携室だより ..... 11  
 全国141の病院ネットワーク ..... 12～13  
 外来診療表 ..... 14

**基本理念** 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。





## 就任のご挨拶

院長 **井 岸 正**

4月1日付で伝統ある松江医療センターの院長を拝命いたしました。責任の重さに身の引き締まる思いであります。当院の歴史を振り返りますと、明治時代にその起源をもつことを知り、その重みをひしひしと感じているところでありますが、応接室に飾られた歴代の院長の写真を拝見しますと、その思いが一層強まります。先人が築いてこられた歴史の重さを感じつつ、病院のさらなる発展と地域医療へ貢献できますよう全力を尽くして参りたいと考えております。

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。私は昭和61年に鳥取大学医学部を卒業し、佐々木孝夫教授が主宰されていた鳥取大学医学部第三内科（現在の分子制御内科）に入局いたしました。臨床医として気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、呼吸器感染症、間質性肺炎等の呼吸器疾患診療の指導を受けました。その後いくつかの市中病院で臨床経験を積みましたが、一貫して呼吸器内科を中心に診療を行ってきました。一時、鳥取大学医学部附属病院を離れて、30歳台半ばには基礎研究に約3年間没頭いたしました。鳥取大学医学部附属病院に戻りました後に、ほどなく清水英二教授が鳥取大学医学部第三内科に着任され、その指導のもとで肺癌の基礎的並びに臨床的研究を行いました。特に、肺癌の化学療法に関することに集中いたしました。当院の矢野修一前副院長と共同研究をさせていただいたこともあります。私が医師になりたての頃は切除不能の肺癌は極めて予後が悪かったのですが、これらの研究にたずさわる過程で、肺癌薬物治療の進歩を目の当たりにして、手術できない肺癌も慢性疾患として十分治療できると実感できるようになりました。当院に着任の直前は、鳥取大学附属病院卒後臨床研修センター専門教育研修部門に所属し、専門医研修にかかわる

業務を担当しておりましたが、その間も継続して呼吸器・膠原病内科で呼吸器疾患の診療を行ってまいりました。

さて、今年の1月1日付で副院長として着任はしていたのですが、まだまだ国立病院機構や松江医療センターについて理解できていないことも多々あります。各診療科の先生方をはじめ、看護部門や事務サイド等の皆さんからいろいろと教えて頂きながら職務をはたしていきたいと考えております。医療全般に言えることでもあるのですが、病院は常に社会情勢の変化にとまどない、課題を課せられ、変化を求められる存在であると認識しております。新型コロナウイルス感染に対する対応などはまさにその極みといえるかもしれません。直接の医療行為のみならず、医療安全や院内感染対策、病院経営の改善等々、数え上げるときりがないうようにも感じられます。ひとつひとつの課題に関しまして、皆様のご指導・ご協力を得ながら、また共通認識を持てるようしっかりとコミュニケーションをとり、病院内外の課題に取り組んでいきたいと考えています。

着任早々で、病院の在り方などというのははばかられますが、この紙面を借りて認識を述べさせていただきます。松江医療センターは政策医療と一般的な診療の両者を担っている病院であると考えています。主な診療対象となる疾患は肺癌、喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、気胸、結核などの呼吸器疾患と筋萎縮性側索硬化症をはじめとする神経難病、筋ジストロフィー、重症心身障害といったものであります。神経・筋疾患や重症心身障害に対する診療は政策医療の側面が強く、一方、結核を除く呼吸器疾患に対する診療は一般診療であると考えています。歴史的には呼吸器疾患も政策医療としての結核を中心としていました

が、疾病構造の変化で現在の在り方に変化しています。一般診療と政策医療は他の医療機関との関係もおのずと異なるのではないのでしょうか。いずれにしても性格を異にするためその違いをしっかりと意識しつつ、種々の課題に取り組む必要があると考えています。神経難病、筋ジストロフィー、重症心身障害などに対し、これまで以上に質の高い医療を提供していくことは当然であります。



## 副院長に就任して

副院長 **古 和 久 典**

令和2年4月1日付で副院長に就任いたしました。新型コロナウイルス感染（COVID-19）が全世界を席卷しており、人類の叡智を結集した対策が奏効し、少しでも早く収束に向かうことを願っている昨今です。

簡単に自己紹介をいたしますと、本籍は父の郷里である島根県浜田市（旧 那賀郡金城町）ですが、私自身は鳥取大学入学を機として、関東より鳥取市、米子市に参ってから山陰両県が生活の基盤となり、人生の半分以上が経過しました。ご縁を頂いて、平成29年6月に診療部長として当院に赴任して脳神経内科診療を担当し、この度、名誉院長となられた前院長 中島健二先生のご指導の下で、パーキンソン病や進行性核上性麻痺・多系統萎縮症・脊髄小脳変性症といったパーキンソニスムなどを呈する神経変性疾患や筋萎縮性側索硬化症を含む神経難病、片頭痛や群発頭痛、薬剤の使用過多による頭痛（薬物乱用頭痛）などの慢性頭痛、認知症の診療に従事するとともに、ADL改善の可能性のある神経難病患者さんの短期リハビリテーションに取り組んでまいりました。また一部ですが、患者会活動にも関わらせて頂くようになりました。

当院は、島根県から平成31年3月1日に、難病診療分野別拠点病院（神経）に指定されました。難病医療体制について、国において新たに示され

当院は「呼吸器病センター」として、呼吸器疾患診療の強さをアピールしてきた経緯があります。今後、その機能と地域での存在感をいかに高めていくかは、重要であるとの認識を強く持っています。このように考えているところであり、私個人のみならず、当院に対しましてもこれまで以上のご指導ご鞭撻並びにご支援をお願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。

た考え方の中では、〈できる限り早期に正しい診断ができる体制〉や〈診断後はより身近な医療機関で適切な医療を受けることができる体制〉が求められています。令和元年秋には、当院の神経難病に深く関わる病棟や部署の布施師長・山田師長・戸野師長・地域医療連携室の松本MSWと一緒に、島根県及び鳥取県西部の医療・介護・福祉・行政の各関係者にアンケート調査をお願いしました。その結果、神経難病に関して当院に求められている点として、症状や在宅介護・在宅支援が上位を占めていることがわかりました。この結果を踏まえて、令和2年2月7日には「神経難病在宅支援研修会（兼 院内勉強会）」を開催し、国立病院機構高松医療センター統括診療部長 市原典子先生より「ALSにおける在宅TPPVへの移行指導」についてご講演を頂き、院内外から70余名の参加者がありました。今後とも研修会や勉強会を重ねて、体制整備を進めていく所存です。

この度、副院長という立場を頂き、中島先生が導かれた脳神経内科診療の維持発展に加えて、当院の特徴である呼吸器疾患・神経難病や筋ジストロフィー・筋萎縮症・重症心身障害の各領域で、当院が地域から求められている医療に応えることができるよう尽力するとともに、井岸新院長の病院運営を補佐していく所存です。引き続きましてご指導ご高配の程よろしくお願い申し上げます。



～ 教 育 研 修 部 コ ラ ム ～

「願わくは…」

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

この原稿を書いているのは3月下旬のとある日。当院自慢の桜もちらほらと咲き始めました。いつもなら桜の開花に自分のテンションは自然と上がるものなのですが、今年は世界中で猛威を奮っているコロナ禍のためか、テンションが上がることはありません。来たるべき時に心も体も備えて、flatなキモチ。どこか臨戦体制のような、そんな日々が続いています。日常なんだけど、非日常が続くのです。今、「願わくは…」と思っていることはおそらく皆さん同じでしょう。

教育研修部も例年通り、年間研修計画、「カリキュラムブック」を作成し、職員の皆さんの知識・技術をbrush upする研修を準備していますが、状況次第では臨機応変に研修スタイルを変えていく必要があるようです。

願わくは 花の下にて 春死なん  
その如月の 望月のころ

西行がこの歌で詠んだ旧暦の2月15日頃というのは現在で言う3月下旬。実際に西行は自らが詠んだこの歌の通り、花盛りの時期に亡くなったんだそうです。思いが強ければ、そんなことまで叶うのかと思わざるを得ません。

願わくは 其々の花を 咲かせてと  
声かけ水やり 肥やしをもやり

いつもなら新年度を迎えた4月5月は新人研修真っ盛り。先輩のスタッフが入れ替わり立ち替わりいろんなことを教えて回っています。その姿を見ると教える側も教えられる側も皆さん一生懸命です。皆さんがそれぞれの立場でもっと輝いてほしい、そう願っています。

願わくは 肺のことなら どんとこい  
花は桜木 肺は上乃木

花、といえばもちろん桜。肺（＝呼吸器）のことなら当院に、と受診していただく患者さんも多いです。本当にありがたいこと。この合言葉、もっと浸透するように頑張らねば。どんとこい、と言い続けることができるようにみんな頑張っていこうと思っております。

最後も西行さんで。  
なにごと も 変はりのみゆく 世の中に  
おなじかげにて すめる月かな

やはり奥が深いですね。世の中は変わる。でも澄んだ月は何も変わらない。不思議なことに2019年1月の本誌コラムでご紹介した一休禅師の歌

分け登る 麓の道は多けれど  
同じ高嶺の月を見るかな

の月とほぼ同じ意味のように解釈できそうです。天才はこうやって時代を超えてシンクロするんですね。。改めて感動しました。月のように澄んではないかもしれないけれどこんな時だからこそブレずにいきたいものです。願わくは、教育研修部がそんな存在になれるように。

さあ、今年度もみんな頑張れまっしょい！



## トピック

## 「診療看護師」

診療看護師 中村 光太



こんにちは。統括診療部で診療看護師：JNP（Japanese Nurse Practitioner 以下JNP）として勤務しています中村光太と申します。

以前の掲載でJNPのあらましと特定行為について掲載させていただきましたが、今回は各病院におけるJNPの活動について紹介いたします。国立病院機構以外ではJNPという呼称はされていないので診療看護師と呼称します。診療看護師は各施設において求められる役割が異なります。当院においては主に3階病棟の入所者のプライマリケア（日常のさまざまな出来事に対する対応を継続的に行うこと）と呼吸器外科、内科、脳神経内科の患者に対する診療補助を主な役割としています。他施設では救急部門に所属し、医師とともに救急患者の診療業務や診療応援を行うものや、集中治療室へ所属し、術後管理を専門として行うもの、また過疎地域の診療所へ勤務し、訪問診療に従事する者もおります。各施設においてそれぞれ業務内容は異なりますが共通することは、「患者が必要な際に必要な医療が受けられるように医師や他職種と協働するということ。」です。

日本は2025年に国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、かつて人類が経験したことのない『超高齢社会』を迎えることが予測されています。医師に負担が集中しないように分業を行い、地域の皆様に安全安心で効果的な医療を提供することを目標として頑張ります。どうか宜しくお願いします。

「神経難病在宅支援研修会  
(兼 院内勉強会)」を終えて

副院長 古和 久典

令和2年2月7日（金）に、当院3階の大会議室を会場として、「神経難病在宅支援研修会」が開催されました。週末前の夕方にもかかわらず院内外から70余名の参加者があり、開始前から会場は熱気に包まれていました。

第一部では、小生から本会開催の経緯と「鳥取県におけるALS患者さんの療養状況」を説明した後、島根県難病診療コーディネーターである、しまね難病相談センターの橋本和子様より「島根県における神経難病患者さんの現状と課題」について、松江市・島根県共同設置松江保健所医事・難病支援課の陰山志保様より「松江圏域の神経難病患者さんの在宅療養状況」についてご紹介いただきました。

第二部では、神経難病患者さんの在宅療養の進め方にご経験豊かな、国立病院機構高松医療センター統括診療部長である市原典子先生を院外講師としてお招きし、「ALSにおける在宅TPPVへの移行指導」について、12週の入院指導期間における計画や具体的な取り組みの様子、在宅指導を進める上での問題点や連携の仕方などをご紹介いただきました。TPPV導入後の重症神経難病患者さんの在宅経験の多くない当院の関係者にとって、示唆に富む大変有意義な講演を頂くことができました。

難病医療体制について、国において新たに示された考え方の中では、〈できる限り早期に正しい診断ができる体制〉や〈診断後はより身近な医療機関で適切な医療を受けることができる体制〉が求められています。当院は島根県から平成31年3月1日に難病診療分野別拠点病院（神経）に指定されました。難病拠点病院（神経）として、希望される患者さんの在宅療養指導や地域との連携を行うことができるよう、今回のような研修会を重ねて、一歩ずつかもしれませんが体制整備を進めていければと考えております。引き続きまして関係する皆様からのご指導やご支援をよろしく願い申し上げます。



## 医師紹介

診療部長 **なかの としや**  
**中野 俊也**



4月から脳神経内科に勤務させて頂いております中野俊也と申します。私は1990年に鳥取大学を卒業し、1994年に大学院修了の後、3年間の国立三朝温泉病院勤務を経て、その後は20年以上を鳥取大学で過ごしました。大学では脳神経病理部門での研究と高次集中治療部での急性期医療に従事した後、2002年からは医学教育学分野の専任教員として、診療を行いつつ、医学教育改革に力を注いでまいりました。この度、この歴史ある病院で臨床の第一線に復帰し、診療に従事できますことを大変光栄に思っております。老眼と戦いつつ、日々頑張っていく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 異動者紹介

やまもと たかひろ  
**山本 隆弘**



職名：業務班長

ご挨拶：中国四国グループから異動してきました。松江での勤務は5年ぶりとなります。

また松江で働きたいと思っておりましたが、こんなに早く実現するとは思っていませんでした。

松江医療センターに貢献できるようがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。

いしばし とおる  
**石橋 融**



職名：経営企画室長

ご挨拶：広島西医療センターから異動してまいりました。松江は出雲そば、宍道湖のしじみ等美味しいものが沢山あり楽しみにしています。仕事とプライベートの両方を充実させたいと考えています。どうぞ、よろしくお願い致します。

やぎうら きょうこ  
**柳浦 京子**



職名：外来 看護師長

ご挨拶：4月1日付で鳥取医療センターから異動して参りました。4年ぶりの松江医療センターで初めての外来勤務となりますので戸惑うことも多いですが、安全を守り信頼される看護を目指して努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

みずたに え  
**水谷ふみ江**



職名：4階東病棟 看護師長

ご挨拶：このたび米子医療センターより転任し、松江医療センターには14年ぶりに勤務させていただくこととなりました。以前勤務していたころより、病院も建て替わり全く違う病院のようですが、ところどころ懐かしい顔も見受けられほっとしています。早く病院になじめるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

# 令和元年度 神経・筋疾患中国四国ブロック 研究発表会に参加して

4階東病棟 副看護師長 平井 千祥

2月15日に、令和元年度神経・筋疾患中国四国ブロック研究発表会が、広島西医療センターにて開催され、座長として参加させていただきました。患者さんや家族の思いに寄り沿った研究内容が多く、難病と闘う患者さんにとってQOLを大切にすることが如何に重要であるのかを改めて感じました。また、患者さんの生活の場は病院だけではなく、出来るだけ住み慣れた街で暮らしていけるよう支援していくことが大切であり、今後もこのような研修発表会を通じて、患者さん、家族にとって大切なことは何かを常に考えながら、看護に努めていきたいと思いました。



1階病棟 療養介助専門員 岡田 望

今回、私は院外での発表は初めてだったので、非常に緊張しました。しかし、パワーポイントでの説明や動画で患者さんの移乗方法を見てもらうことができ、質疑応答の際、他施設の職員から「分かりやすかった」と言ってもらえて嬉しく思いました。また、他施設の介助員の発表もあり、患者さんとの関わりや季節に応じたレクリエーションを介助員が企画、実施していることなどを知ることが出来ました。その活動を参考に取り入れていきたいと思いました。



4階東病棟 看護師 松崎 春香

2月15日に広島西医療センターで行われた令和元年度 神経・筋疾患中国四国ブロック研究発表会に参加させて頂きました。私は、「神経難病患者の退院時の情報提供における連携の在り方」についての研究発表を行いました。私自身初めての看護研究で、準備の段階からわからない事が沢山ありましたが、指導を頂きながら今回の研究発表を無事終えることが出来ました。

神経筋疾患の患者さんと日々かかわっている方々の発表を聞いて、同じ様に問題と感じている事に対する対応や、患者さんとの関わり方等とても興味深い発表が沢山あり、学びのある研究発表会でした。

4階東病棟では、現在退院前カンファレンスと看護サマリーで情報提供をすることで退院支援を行っていますが、在宅支援者が求めている情報について今回の看護研究で明らかにすることが出来、現在の情報提供の内容では不足しているという事が分かりました。今後の退院支援に活かし、患者さんがスムーズに在宅へ移行出来るように、また適切な情報提供を行う事で患者さんのQOLの向上に繋げていきたいと思えます。



栄養士 丸子 麻唯彩

今回初めて神経・筋疾患中国四国ブロック研究発表会に参加させていただきました。他職種の方々の発表を聞ける貴重な時間となりました。実際の患者さんの様子をビデオや写真で見ることができ、とても分かりやすく勉強になりました。しかし、難しい言葉などもあり、勉強不足を痛感しました。栄養的知識はもちろんのこと、他職種の分野まで知識の幅を広げ、より理解を深めていきたいと感じました。



今回の発表は比較的落ち着いて話すことができたように思います。

今後も自分の発表や他の方の発表を通してより学びを深めていきたいと思っています。



## 電動車いすサッカーチーム 『松江コンビッグ』

みなさんこんにちは、『松江コンビッグ』です。

私たち『松江コンビッグ』は、松江医療センター内で平成18年に発足した、電動車椅子でサッカーをしているチームです。

松江コンビッグの名前の由来は「一人ひとりの力を結合（combine）させて、まとまりのある大きな（big）チームになろう」ということでこの名前になっています。

練習は週に1回、木曜日の17時45分～18時45分に療育訓練室で活動しています。練習内容は、スラローム（コーンを使用したドリブル）、パス回し、シュート練習や試合形式の練習などしています。その他に地域の高校の文化祭に参加してもらい電動車椅子サッカーの紹介をさせてもらっています。

毎週、楽しく盛り上がりチーム仲良く活動をしています。



私たち松江コンビッグは、練習などのサポートをしてくださるボランティアさんを募集しています。少しでも興味がある方は、いつでも見学に来てください。

松江コンビッグ一同

お問い合わせ先

松江医療センター 療育指導室

TEL 0852-21-6131





# 消火避難訓練を実施しました

庶務班長 星原 昌美

令和2年3月11日（水）に消防法施行規則第3条第10項による消火避難訓練を実施しました。夜間に4階東病棟汚物処理室から出火という想定で行いました。

夜間はスタッフが少ないことに加えて、やるべきことが多く短時間のうちに、しかもほぼ同時に行わなくてはなりません。思いつくだけでも消火器などによる初期消火活動や消防署への通報、そして患者さんの避難などが挙げられると思います。普段の業務ではほぼ経験することがないのでベテランのスタッフですら慌てると思います。ましてや新人スタッフは言うまでもないでしょう。

しかし、新人スタッフだからこそ今のうちに経験してほしいということで、新人スタッフを優先に訓練に参加してもらうようお願いしました。防災センターの写真の中心に写っている男性は当時新採用の庶務係です。ただでさえ初めての訓練なのに事務部長をはじめ副看護部長や医師に囲まれながらの訓練は緊張の上なかつたと思います。

病棟で患者役や消火役を演じたスタッフの緊張した表



情が写真からも伝わってきます。

一方で本部の写真は、慌ただしい雰囲気であるにもかかわらずどこか落ち着いた感じがうかがえます。何事も経験が大事だということを教えられるようです。

何度も訓練を行って全職員に経験してほしいと思っていますが、限られたスケジュールで行っているため、次回の訓練でも未経験者を中心に参加してほしいと思っています。

今後も患者さまと職員の安全を守るために努めたいと思います。



# 3 階病棟院内行事 春祭り会

保育士 河村 一弘

3月12日（木）に3階病棟デイルームで令和元年度最後の院内行事「春祭り会」を実施しました。今回の行事のテーマは、春と思い出とオリンピック。最初に10分間スライドショーで1年間の思い出写真を見ます。まだ1年前の写真ですが、懐かしい写真に皆さん思わず笑顔がこぼれます。その笑顔のまま春の歌を数曲歌いました。

次はオリンピックにまつわるクイズやゲームです。クイズでオリンピックについて詳しくなった後に、五輪を使い会場全員でリングリレーをします。その五輪を手作り聖火台に取り付けて完成です。ちょうど行事を実施した3月12日がギリシアでオリンピックのトーチへの最初の採火式がありました。こちらでは最後の聖火台への点火を模した内容を実施しました。

今回は残念ながらコロナウィルス感染拡大予防のため、家族の面会が中止になりました。しかし看護部をはじめ職員の協力のもと、和やかな行事を行うことができました。会場の皆で輪になり、協力して楽しみながら実施した春の院内行事。楽しい時間を共有し皆の輪、希望や情熱の炎も上がりました。今年度も充実した楽しい一年になりますように。



## 人 事 異 動

発令月日	事 項	職 名	氏 名	備 考
3月31日	退 職	院長	中 島 健 二	
3月31日	退 職	副院長	矢 野 修 一	
3月31日	辞 職	呼吸器外科医師	大 島 祐 貴	鳥取大学医学部附属病院へ
3月31日	辞 職	副看護師長	長 谷 部 知 子	
4月1日	配 置 換	管理課長	上 藤 大 征	呉医療センターへ
4月1日	昇 任	看護師長	坂 本 栄 美 子	浜田医療センターへ
4月1日	配 置 換	看護師長	奥 村 真 美	広島西医療センターへ
4月1日	昇 任	業務班長	森 岡 頼 彦	浜田医療センターへ
4月1日	配 置 換	理学療法主任	柿 丸 泰 之	四国こどもとおとなの医療センターへ
4月1日	昇 任	副看護師長	安 食 裕 子	米子医療センターへ
4月1日	昇 任	院長	井 岸 正 一	
4月1日	昇 任	副院長	古 和 久 典	
4月1日	昇 任	リハビリテーション科医長	細 田 義 人	
4月1日	採 用	診療部長	中 野 俊 也	鳥取大学医学部から
4月1日	配 置 換	経営企画室長	石 橋 融	広島西医療センターから
4月1日	配 置 換	看護師長	柳 浦 京 子	鳥取医療センターから
4月1日	配 置 換	看護師長	水 谷 ふ み 江	米子医療センターから
4月1日	配 置 換	業務班長	山 本 隆 弘	中国四国グループから
4月1日	昇 任	財務管理係長	青 木 晋 也	米子医療センターから
4月1日	配 置 換	細菌主任	西 井 千 恵	米子医療センターから
4月1日	昇 任	理学療法主任	藪 田 英 吾	徳島病院から

# 地域医療連携室だより 第38号

2020年4月

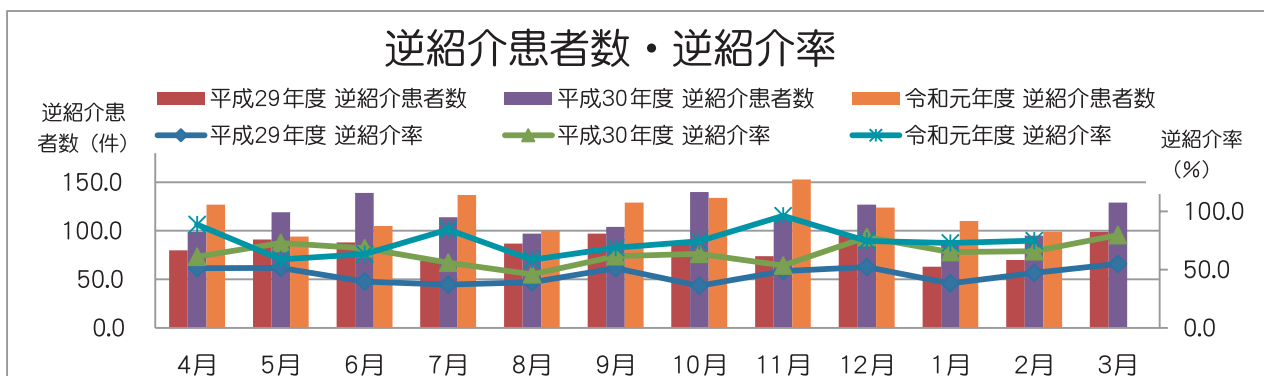
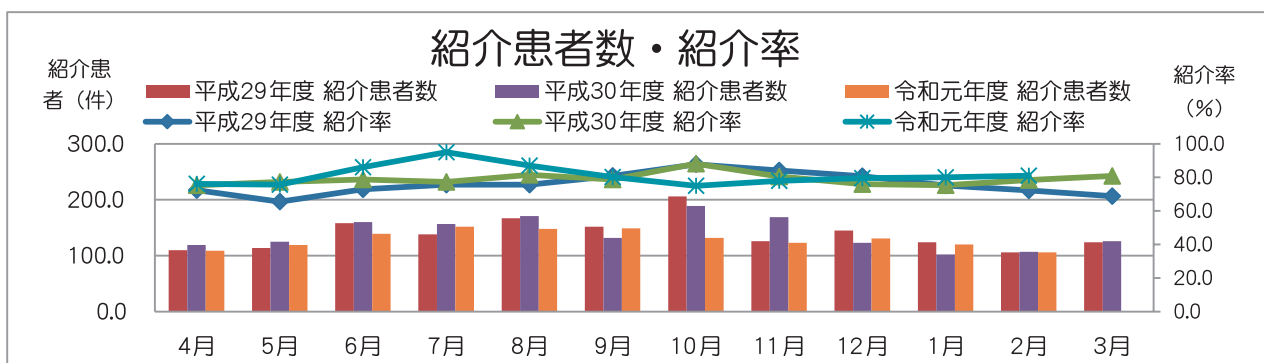


## 【時間外の対応について】

呼吸器疾患で緊急にご紹介いただく患者さまにつきましては24時間対応させていただきますので夜間・休日に関わらず下記にご連絡ください。

☎0852-21-6131 (代表) または 0852-24-7671 (地連)

### 1. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移



### 2. 退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

		H31 4月	R1 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者 (人)		194	178	198	201	201	178	211	199	187	199	203	
退 院 先	在宅 (人)	112	83	111	120	104	102	118	106	106	86	102	
	施設 (人)	1	2	1	2	2	5	1	2	4	2	4	
	病院 (人)	16	7	7	13	10	13	10	13	7	4	9	

※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させて頂いた患者さんの割合です。

逆紹介率 = 逆紹介患者数 ÷ 初診患者数 (休日、夜間の救急患者数を除く。)

# 全国141の病院

130. 熊本再春医療センター 	118. 大牟田病院 	101. 東広島医療センター 	93. 米子医療センター 	86. 兵庫あおの病院 	79. 京都病院 	72. 敦賀医療センター 	66. 東尾張病院 
131. 大分医療センター 	119. 福岡東医療センター 	102. 賀茂精神医療センター 	94. 松江医療センター 	87. 兵庫中央病院 	80. 大阪医療センター 	73. あわら病院 	67. 豊橋医療センター 
132. 別府医療センター 	120. 佐賀病院 	103. 関門医療センター 	95. 浜田医療センター 	88. 奈良医療センター 	81. 近畿中央呼吸器センター 	74. 東近江総合医療センター 	68. 三重病院 
133. 西別府病院 	121. 肥前精神医療センター 	104. 山口宇部医療センター 	96. 岡山医療センター 	89. やまと精神医療センター 	82. 大阪刀根山医療センター 	75. 紫香楽病院 	69. 鈴鹿病院 
134. 宮崎東病院 	122. 東佐賀病院 	105. 岩国医療センター 	97. 南岡山医療センター 	90. 南和歌山医療センター 	83. 大阪南医療センター 	76. 京都医療センター 	70. 三重中央医療センター 
135. 都城医療センター 	123. 雄野医療センター 	106. 柳井医療センター 	98. 呉医療センター 	91. 和歌山病院 	84. 神戸医療センター 	77. 宇多野病院 	71. 榊原病院 
136. 宮崎病院 	124. 長崎病院 	114. 小倉医療センター 	99. 福山医療センター 	92. 鳥取医療センター 	85. 姫路医療センター 	78. 舞鶴医療センター 	
137. 鹿児島医療センター 	125. 長崎医療センター 	115. 九州がんセンター 	100. 広島西医療センター 				
138. 指宿医療センター 	126. 長崎川棚医療センター 	116. 九州医療センター 					
139. 南九州病院 	127. 熊本医療センター 	117. 福岡病院 					
140. 沖縄病院 	128. 熊本南病院 						
141. 琉球病院 	129. 菊池病院 						



111. 四国がんセンター 	109. 高松医療センター 	107. 東徳島医療センター 
113. 高知病院 	112. 愛媛医療センター 	110. 四国こどもとおとなの医療センター 
		108. 徳島病院 

# ネットワーク

The following table lists the hospitals and medical centers shown in the network diagram, organized by their regional number:

Region Number	Hospital/Center Name
1	北海道がんセンター
2	北海道医療センター
3	函館病院
4	旭川医療センター
5	帯広病院
6	八雲病院
7	弘前病院
8	八戸病院
9	青森病院
10	盛岡医療センター
11	花巻病院
12	岩手病院
13	釜石病院
14	仙台医療センター
15	仙台西多賀病院
16	宮城病院
17	あきた病院
18	山形病院
19	米沢病院
20	福島病院
21	いわき病院
22	水戸医療センター
23	霞ヶ浦医療センター
24	茨城東病院
25	栃木医療センター
26	宇都宮病院
27	高崎総合医療センター
28	沼田病院
29	渋川医療センター
30	西埼玉中央病院
31	埼玉病院
32	東埼玉病院
33	千葉医療センター
34	千葉東病院
35	下総精神医療センター
36	下志津病院
37	東京医療センター
38	災害医療センター
39	東京病院
40	村山医療センター
41	横浜医療センター
42	久里浜医療センター
43	箱根病院
44	相模原病院
45	神奈川病院
46	西新潟中央病院
47	新潟病院
48	さいがた医療センター
49	甲府病院
50	東長野病院
51	まつもと医療センター
52	信州上田医療センター
53	小諸高原病院
54	富山病院
55	北陸病院
56	金沢医療センター
57	医王病院
58	七尾病院
59	石川病院
60	長良医療センター
61	静岡てんかん・神経医療センター
62	天竜病院
63	静岡医療センター
64	名古屋医療センター
65	東名古屋病院

外来診療表

お気軽にご相談下さい

令和2年4月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	専門領域	
呼吸器内科		岩本(初)	多田(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 井岸 正 池田 敏和 小林 賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 多田 光宏 岩本 信一 西川 恵美子 坪内 佑介	
		多田	小林	岩本	西川	木村		【院長】呼吸器一般 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
		井岸	門脇	池田	坪内	小林		
循環器内科						生馬	【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般	
脳神経内科		中島 (完全予約制 不定期隔週)	古和	深田	足立	交替制	【脳神経内科】 中島 健二 古和 久典 足立 芳樹 中野 俊也 細田 義人 下山 良二 深田 育代	
		中野	下山		細田			【脳神経内科】 【名誉院長】脳神経内科 (完全予約制・不定期隔週) 【副院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 【診療部長】脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科
呼吸器外科		荒木		目次		荒木	【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科	
小児科	発達 専門外来	久保田 (予約)	齋田 (予約)	齋田 松村 (予約)	久保田 (予約)	齋田 (予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田 智香 松村 渉	
	予防接種		(予約)					重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
麻酔科	腰痛外来			西村 (予約)			【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域	
	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
特	睡眠時無 呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田 智香 松村 渉	
	息切れ 外来		呼吸器内科 池田(予約)					重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
殊	喘息 アレルギー外来					池田 (予約)	【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域	
	咳嗽外来					池田 (予約)		
外	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30 独立行政法人 松江医療センター 国立病院機構 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661	
	アスベスト 外来		多田 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)			
来	もの忘れ 外来			深田			Matsue Medical Center	
	セカンド オピニオン 外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		

特 殊 外 来	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,500円
	睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。	
セカンドオピニオン外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・脳神経内科・小児科(筋ジストロフィー)の専門医(医長)が担当いたします。	